

昭和二十一年一月

現代かなづかい

文部省

- 一 このかなづかいは、大抵現代語音にもとづいて、現代語をかなで書きあらわす場合の準則を示したものである。
- 一 このかなづかいは、主として現代文のうち、口読作のものに適用する。
- 一 原文のかなづかいによる必要のあるもの、またはこれを更に更くがたいものは除く。

めくれず

表記に因する通則

- 第一 ア列長音は、ア列のかなにアをつけて書く。
- 第二 イ列長音は、イ列のかなにイをつけて書く。
- 第三 ウ列長音は、ウ列のかなにうをつけて書く。
- 第四 エ列長音は、エ列のかなにえをつけて書く。
- 第五 オ列長音は、オ列のかなにうをつけて書くことを左則とする。
- 第六 ア列拗音の長音は、ア列拗音のかなにアをつけて書く。
- 第七 ウ列拗音の長音は、ウ列拗音のかなにうをつけて書く。
- 第八 オ列拗音の長音は、オ列拗音のかなにうをつけて書くことを左則とする。
- 第九 拗音をあらわすには、ヤ、ユ、ヨを用い、なるべく右下に小さく書く。
- 第十 促音をあらわすには、つを用い、なるべく右下に小さく書く。

第一 ろゑをはいえおと書く。たゞ、助詞のをを除く。

例

- ろゑいと書くもの
- いと (井戸) いのしし (猪) くわい (慈姑) あい (藍)
- まいど (参る) いる (居る)
- いびよう (胃腸) はんい (權威) いち (位置) いらん (遺産)
- いん (委任) たいい (大尉)
- くいけ (区域)
- しやくいん (職員) ひよういん (病院) よいん (余韻) すいどう (水道)
- すいさつ (推察) すいじ (炊事) すいやく (衰弱) すいばん (随分)
- いっつい (一對)
- ゆいさん (遺言)
- しんるい (親類)
- ろゑと書くもの

こえ (聲) っえ (杖) すえ (末)
 うえろ (植える) すえろ (据える)
 えとく (會得) ちえ (智慧) えこう (回向)
 このえ (近衛)
 ちようえ (超裁)
 えんきん (遠近) こうえん (公園) けんえん (猿)
 いちえん (一圓) ぎよえん (市苑) えんじ (怨嗟)
 えんじよ (援助) えんじい (冤罪)
 三、をとおと書くもの
 おけ (桶) おか (岡) うお (魚) とお (十)
 おとろ (踊る) おしえろ (教へる) しおろ (萎れる)
 おしい (指しい) おかしい (をかしい) あおい (青い)
 おのい (汚名) おかん (悪寒)
 ろうおう (老翁)

二、
 かわ、ぐわはが、がと書く。
 例
 かわ (化) かわ (貨幣) かわん (花粉)
 け (結果) かし (菓子) かし (退去) かがく (科学)
 かい (火事) かもく (課目)
 かいぎ (會議) かいが (繪画) こうかい (後悔)
 かい (破壊) かいすう (回教) けかい (奇怪) ゆかい (愉快)
 かくとく (獲得) かくだい (拡大)
 かつどう (活動) かつこう (狡猾)
 かんげい (歓迎) かんり (官吏) かん (帰還) いかん (一貫)

二、
 ぐわをがと書くもの
 かわ (化) かわ (貨幣) かわん (花粉)
 け (結果) かし (菓子) かし (退去) かがく (科学)
 かい (火事) かもく (課目)
 かいぎ (會議) かいが (繪画) こうかい (後悔)
 かい (破壊) かいすう (回教) けかい (奇怪) ゆかい (愉快)
 かくとく (獲得) かくだい (拡大)
 かつどう (活動) かつこう (狡猾)
 かんげい (歓迎) かんり (官吏) かん (帰還) いかん (一貫)

第三

がけけ (瓦礫) がしよう (臥床)
 がいこく (外國) がいこく (外國)
 いちが (一) (一月)
 がんり (元利) がんやく (丸菓) こんばん (鯁願)

例

ぢまじと書くもの
 あじ (味) 小じ (藤) わらし (草鞋)
 ねじる (捻ぢる) はじる (恥ぢる) よじる (攀ぢる)
 じぞく (持統) じ (痔)
 いく (軸) じんち (陣地)
 じよせい (女性) さくじよ (削除) じゆうばん (重仕)
 じゆうきよ (值居) まんじゆう (饅頭)

ゆずる (譲る) うずのる (理める) さすける (授ける)
 めずらしい (珍しい) ほすかしい (恥かしい)
 しずかに (静かに) ます (先づ)
 だす (大豆) ずじよう (頭上) さんすのかわ (三途の川)
 すが (圖画)

例

はぢぢ (鼻血) もらいぢぢ (もらい乳)
 ひぢぢのん (緋縮緬) ちかぢか (近々)
 みそぢけ (味噌漬) みかづき (三日月)
 ひまづな (引綱) つねづね (常々)
 いれぢえ (入智慧) ちやのみぢやけん (茶飯茶碗)

例

(2) 同音の連呼によつて生じたぢぢはぢぢと書く。

ぢぢみ (縮み)

ぢぢ玉 (縮玉)

つづみ (鼓)

つづら (葛籠)

つづく (続く)

つづる (綴る)

第四 ㄱに發音されるははわと書く・たゞし助詞のははははと書くことを
を別とする。

例

かわう (瓦) かわ (河) かわ (度)

あらわす (著す) まわる (廻る) こわれる (毀れる)

あらわない (洗はない) ちつかわない (扱はない) うたわない (歌はない)

かわいらしい (かほいらしい) くわしい (詳しい) けわしい (険しい)

はわか (俄かに) すなわち (別ち)

ひわ (琵琶) ひわ (枇杷)

第五 ㄱに發音されるははいと書く

例

うぐす (鶯) たい (鯛) はい (灰) いわけ (言譯)

ついやす (費す) たいらげる (平げる) ならいあす (羽目あす)

おもいあす (思ひあす) ながいあす (従ひあす)

ちいさい (小さい) こいしい (恋しい)

ついに (遂に)

第六 ㄱに發音されるははうと書く

例

あうう (洗小) まう (舞小) あう (合小) かう (買小)

うたう (歌小) しなう (洗小) いう (言小) かう (食小)

すう (吸小) ぬう (縫小) ゆう (結小) くらう (狂小)

あうさう (争小) うけあう (請負小) おもう (思小)

あやうい (危い)

い發音されるはは おと書く

例

あおい (葵)

あおぐ (仰ぐ) あおる (煽る) たおす (倒す)

第八 エに發音するへはえと書く。ただし助詞のへは、へと書くこと
を原則とする。

- 例
- かえる (鞋) いえ (家) まえ (前) かんがえ (考)
 - かえる (帰) さえずる (囀)
 - すくえ (救へ) りろえ (拾へ)
 - さえ (助詞さへ)

第九 オに發音するほは、おと書く。

- 例
- いけおい (執事) かお (顔) しお (塩) におい (匂)
 - おおかみ (狼) おおやけ (公) こおり (氷)
 - こおり (凍) ほおすけ (酸将水) ほお (頬)
 - ほおのき (朴木) もよおし (催し)
 - ほおす (直す) しよおせる (為逆せる) とどおる (滞る) とおる (通)

第十 ユの長音は、ゆうと書く。

- 例
- おおい (多い) おおいきい (大きい) とおい (遠い)
 - あお (猶)
 - ゆうじん (友人) ゆうげん (幽玄) ゆうじん (郵便) ゆうわく (誘惑)
 - りゆう (理由) じやうぢ (所有) ゆうび (遊戯) ゆせん (悠然)
 - ゆうりま (憂慮)
 - いさをゆうと書くもの
 - とゆう (都邑)

第十一 エ列長音は、エ列のなほにえを、けく書く。

- 例
- ねえさん (姉さん) ええ (応答の語)
 - オの長音は、おうと書く。
 - あうをおうと書くもの

二 おうか (桜花) ちゆうおう (中央) おうむ (鸚鵡) おうり (奥羽)
わがまおうと書くもの

三 よおう (弱) おうらい (徳来) こくおう (國重) おうせい (旺盛)
おうじ (皇子) おうごん (黄金) おうし (横死)

四 あふまおうと書くもの
おうき (扇) おうみ (近江) おうとつ (凹凸)
おうちつ (押捺) おうりやくこう (鴨緑江)

五 あおう (逢はう) かおう (買はう) まおう (舞はう)
こおう (強) おおう (強)

第十三 コおまびゴの長音はこうじうと書く。

一 かうをこうと書くもの
こうじ (類) こうがい (竿) こうべ (神戸)

二 さこう (咲かう) きこう (南かう)

三 こうばしい (かうばしい)
あこう (赤う) ちこう (追う) こう (斬う)
こうりん (好運) こうりよ (考慮) ほうこう (方向) しゆこう (酒肴)
こうすい (香水) こうび (講義) こうぶん (高山) こうかい (航海)
こうこい (幸福) こうか (効果) こうつう (交通) こうかく (降伏)
こうふう (校風) こうい (竹鳥) けんこう (健康)

四 くわうをこうと書くもの
こうえん (先線) こうたい (宏太) こうきよう (廣狹)
こうしやく (黄色) こうぞく (皇族) こうまん (荒天)

五 かいをこうと書くもの
こうおつ (甲乙) たいこう (太閤) こうかく (岬角)

六 かいをこうと書くもの
こう (劫)

いそごう (急がう) なごう (長う)
ほんごう (番号) さいごう (西郷)
ぶんごう (文豪) じょうぜん (傲然)
ぐわうごう (鞆) じょういん (厩引)

六 ぐわうごうと書くもの
ごうごう (鞆)

七 が小まごうと書くもの
いちごう (一合)

八 じ小まごうと書くもの
えいごう (永劫) ざいごう (罪業)
およびの長音は ぞうごうと書く。
例 もまは ぞうまは

一 さうまごうと書くもの
はなごう (話さう) かえごう (忍さう) ちらごう (散らさう)
あごう (候) くごう (臭う)
ぞう (然)

々うじ (掃除) いうごう (一双) ぞうが (瓜牙) ぞうちよう (早朝)

ぞうい (相違) ぞうこ (倉庫) じゆうごう (圭曹)
ぞうねん (壮年) たいごう (作操) ぞうもく (草木)
ぞうどう (騒動) ぞうどう (争闘) ぞうり (喪失) ぞうしき (葬式)

二 さふまごうと書くもの
まうろう (候ふ)

三 せいごう (製造) ぞうしよ (藏書) ぞう (象) じようごう (肖像)
ぞうまごうと書くもの
ぞうせん (雑巾)

四 トおよびの長音は ぞうごうと書く。
例

たうごうと書くもの
とうげ (峠) たごうがみ (畳紙)

うとう (打たさ) かとう (勝たう) たとう (たたう) いとう (痛う)

かとう (堅う) とうけん (刀剣) とうしよ (島嶼) とうばつ (討伐) とうぞく (盜賊)

さとう (砂糖) とうぜん (当然) ねとう (熱湯) おうとく (桜桃)

とうい (陶器) さとう (祈禱) ついとう (追悼)

二 だ小をとうと書くもの
とうへん (塔) とうは (踏破) すいとう (出納)

三 だうをとうと書くもの
とうり (道路) とうら (講堂) かいとう (海棠) ぶとう (葡萄)

第十六 ノの長音は、のうと書く。

一 なるきのうと書くもの

しのう (死ぬ) あふのう (あぶなう)

だいのう (大膽) くのう (苦惱) のうちゆう (囊中)

二 な小をのうと書くもの

のうにゆう (納入)

三 あふきのうと書くもの

きのう (昨日)

第十七 ホおよびホの長音は、ほう、ぼうと書く。

一 ほうをほうと書くもの

ほうけ (皇帝) ほうびる (蒸す)

ほうこく (報告) ほうか (郵家) こくほう (國書)

ほうとく (方策) ほうか (包拮) ほうび (褒美)

二 ほ小 (またはほ小) をほうと書くもの

ほうる (投る)

ほうりつ (法律) ほうし (法師)

三 ぼうをほうと書くもの

ほうほう (八百)

すほう (酸っぱい)

四 ぼ小 (またはほ小) をぼうと書くもの

り(ぼ) (立法) せ(ぼ) (説法)

五 ぼうをぼうと書くもの

あ(ぼう) (遊ぼう) と(ぼう) (飛ぼう) は(ぼう) (運ぼう)

ほうどう (暴動) ほうけん (冒險) ほうす (坊主) (書房)

の(ぼう) (滅亡) き(ぼう) (希望) ほうち(ぼう) (膨脹)

六 ぼ小 (またはほ小) をぼうと書くもの

ぼん(ぼう) (貧乏)

第十八 毛の長音はもうと書く。

例

まうをもうと書くもの

もうける (儲ける) もうす (申す) やすもう (休まう)

たのもう (頼まう) あも(もう) (甘) せ(もう) (狭) もう(は) (毛髪)

もうどう (妄動) もう(も) (盲目) ほん(もう) (希望) もう(ま) (網膜)

第十九 ヨの長音はようと書く。

例

やうをようと書くもの

ようか (八日) は(よう) (早) よ(やく) (漸) よ(う) (羊)

かい(よう) (海洋) よ(う) (様式) たい(よう) (太陽) さ(よう) (楊柳)

ニ えうをようと書くもの

え(う) (要領) に(ち) (日曜) よ(う) (遠拜)

ま(う) (謠曲) よ(う) (幼年) よ(う) (夭折)

三 え小をようと書くもの

こ(う) (紅葉)

第二十 口の長音はろうと書く。

例

らうをらうと書くもの

いの(らう) (祈) か(え) (帰)

く(らう) (暗) か(らう) (荷) あ(らう) (粗) ろ(う) (老人)

ら(う) (労働) め(らう) (明朗) ろ(う) (廊下) た(らう) (太郎)

第三

二 ちをろうと書くもの
ろうそく (蠟燭) きゆうろう (舊臘)
ちよまばむの長音は、きゆう、きゆうと書く。

一 きうをきゆうと書くもの

おうきゆう (大い)

きゆうまう (休養)

ようきゆう (要求)

きゆうりまう (丘陵)

きゆうたい (及第)

かききゆう (階級)

きゆうま (急務)

きゆうにゆう (牛乳)

きゆうをきゆうと書くもの

あたらしゆう (新し)

しゆうと (舅)

しゆうと (姑)

しゆうと (姉)

しゆうと (妹)

しゆうと (兄)

しゆうと (弟)

しゆうと (父)

しゆうと (母)

しゆうと (兄)

しゆうと (弟)

しゆうと (父)

しゆうと (母)

しゆうと (兄)

しゆうと (弟)

しゆうと (父)

しゆうと (母)

しゆうと (兄)

しゆうと (弟)

しゆうと (父)

しゆうと (母)

しゆうと (兄)

しゆうと (弟)

しゆうと (父)

しゆうと (母)

しゆうと (兄)

第三三

五の長音は、ちゆうと書く。
例 じゆうやく (重役) じゆうきよ (佐治)

一 ちゆうをちゆうと書くもの

はくちゆうえ (白晝) ちゆうぞう (铸造) ちゆうたい (紐帶)

うちゆう (宇宙) ちゆうしゆう (抽出) せいちゆう (制肘)

第三四

三の長音は、にゆうと書く。

一 にゆうをにゆうと書くもの

にゆうわ (柔和)

二 ばぶをにゆうと書くもの

にゆうがく (入学)

第三五

五の長音は、いゆう、びゆうと書く。

一 いゆうをいゆうと書くもの

いゆうが (日向)

二 びゆうをびゆうと書くもの

びゆう (誤謄)

第三六

五の長音は、りゆうと書く。

一 りゆうをりゆうと書くもの

りゆうい (留意) せりゆう (柳) りゆうこう (流行)

二 りぶをりゆうと書くもの

こんりゆう (建立) いちりゆう (一粒)

第三七

五の長音は、きようと書く。

一 きやうをきやうと書くもの

きやうたん (敬嘆) ねつきやう (熱狂) きやうだい (兄弟)

きやうぞう (競走) きやうだい (鏡台) きやうりやく (強力)

とうきやう (東京) きやうもん (経文) こきやう (故郷)

きやうおう (養應)

二 けうをきやうと書くもの

きやうじやう (校令) きやういく (教育) マツたまう (鉄橋)
きやうぼく (香木)

三 けふをきやうと書くもの

きまう (今日) きまうい (骨威) きまうりやく (協力) きまうさ (依)

四 ぢやうをぢやうと書くもの

しゆぢやう (修行) じんぢやう (人形)

五 げうをぢやうと書くもの

こんぢやう (今晩) ぢやうしゆん (堯舜)

六 げふをぢやうと書くもの

ぢやうむ (牛馬務)

第三八

シヨ 兵馬のミ辰音はしやうじやうと書く。

例

一 しやうをしやうと書くもの

しやうじ (高直) しやうばい (高賣) しやうい (詳細) しやうい (高直)
しやうじ (一生) しやうか (唱歌) しやうい (将末) しやうい (入直)

二 せうをしやうと書くもの

しやうせつ (小説) しやうじん (少年) しやうそく (消息)
しやうしゆ (召集) しやうだい (招待) しやうのい (照明)
しやう (微笑) しやうしつ (燒失) あんしやう (暗礁)

三 せふをしやうと書くもの

こうしやう (交渉) さしやう (妻妾) しやうけい (捷徑)

四 ぢやうをぢやうと書くもの

しやうず (上手) かんぢやう (感情) じんぢやう (戒懲)
ぢやうぼ (讓歩) しやうしゆ (成就) じんぢやう (尋常)

五 ぢやうをしやうと書くもの

しやう (市場) かいしやう (令嬢) じんぢやう (丈夫)
しやうせき (定石) じんぢやう (錠)

六 せうをしやうと書くもの

しやうせつ (饒舌) せうじやう (騷擾)

七 ぢやうをしやうと書くもの

ぢやうをしやうと書くもの

サシじよう (三條)

で小をじようと書くもの

ろくじよう (六呂置) いちじよう (一帖)

第三九 ちの長音は、ちようと書く

例

一 ちやうをちようと書くもの

ちようかい (町会) ちようたん (長短)

ちようしゆ (聴取) ちようちん (提燈) ちよう (腸)

二 マウをちようと書くもの

ちようでん (市電) ちようるい (鳥類) ちようしやく (朝食)

ぜんちよう (前兆) ちようし (調子) ちようこく (彫刻)

三 マウをちようと書くもの

ちよう (蝶) つうちよう (通牒)

第三十 ニョの長音は、にようと書く

ねうをにようと書くもの

によう (尿)

第三十一 ヒョおよびビョの長音は、ひようと書く

例

いやうをひようと書くもの

ひようばん (評判) ひようそく (平仄) たいひよう (大兵)

二 へうをひようと書くもの

ひようり (表裏) びひよう (二儀) とうひよう (投票)

ひよう (豹)

三 びやうをひようと書くもの

びようぶ (屏風) びようち (病氣) びよう (鉄)

四 べうをひようと書くもの

ひようしや (描字) れいひよう (霊廟)

第三十二 ショの長音は、しようと書く

例

第三十三 例
リヨの長音はリヨウと書く。

一 井やうをみまうと書くもの

井まうにち (明日) しゆみまう (壽介) 井まうだい (名代) 井まうが (京加)

二 めうをみまうと書くもの

みまうぢ (妙板) 井まうじ (苗字)

一 リやうをりまうと書くもの

ぜんりまう (善良) りまうほう (両方) りまうと (領土)

せりまう (清浄) りまうじつ (詠祭) ほんりまう (今世)

二 れうをりまうと書くもの

りまうり (料理) しゆりまう (終了) かんりまう (官療)

りまう (寮) せりまう (寂寥) かりまう (無聊)

三 小をりまうと書くもの

りまう (獵)

注意

「カ」が「ガ」おまじ「ヂ」が「ジ」をいに分けてゐる
地方に限り、これを書け分けずもさしつかえない。

らえやま うふうう らえう ふ	はばほなだ ううううう ばはな ふふふ ほの ふふ	たやま ううう たやま ふふ ふふ	さ う さ ふ	こ う こ ふ	が う が ふ	こ う こ ふ	か う か ふ	は う は ふ	あ う あ ふ			
ロ オ	ヨ オ	フ オ	ホ オ	ホ オ	ホ オ	ト オ	ソ オ	ソ オ	ゴ オ	コ オ	オ オ	
ろ う	よ う	も う	ほ う	ほ う	ほ う	の う	と う	そ う	そ う	ご う	こ う	あ う

.. う .. ふ	旧 かな が か い
ユウ	発 音
ゆう	新 かな が か い

ニ

ほへふふ、ひはづぐくをゑぬ のわ	旧 かな が か い
オエオウイワズジガカオエイ	発 音
おえおう、わすじががおえい	新 かな が か い

新旧かながかい対照表

	ちやう、てう、まふ ねう ひやう、へう びやう、べう みやう、めう りやう、れう、れふ
	ちョオ ニョオ ヒョオ ビョオ ミョオ リョオ
	ちよう によう ひよう びよう みよう りよう

〔昭和二十一年九月印刷〕

新かなづかい

旧かなづかい キヤウ、ケウ、ケフ、ケフ ギヤウ、ゲウ、ゲフ、ゲフ シヤウ、セウ、セフ、セフ ジヤウ、ゼウ、ゼフ、ゼフ テウ、テフ、テフ	発音 キョオ ギョオ ショオ ジョオ テョオ	新かなづかい ちよう ぎよう しよう じよう いていよう
------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------------

旧かなづかい キョウ、キョフ、キョフ ギョウ、ギョフ、ギョフ ショウ、ショフ、ショフ ジョウ、ゼフ、ゼフ、ゼフ テウ、テフ、テフ	発音 キョウ ギョウ ショウ ジョウ テョウ	新かなづかい ちよう ぎよう しよう じよう いていよう
---------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------------

三